

防 災 係

1 災害対策

(1) 訓練

ア 東京都・昭島市・福生市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町合同総合防災訓練

日 時 平成 19 年 9 月 1 日(土) 午前 9 時 00 分～正午

目 的 平成 19 年度は、首都圏 8 都县市との合同防災訓練として、東京都、昭島市、武蔵村山市、羽村市及び瑞穂町と合同で防災訓練を実施することにより、震災時における近隣市町との相互連携並びに東京都の支援体制及び各防災機関との連携を構築し、災害対応能力の向上を図った。

場 所 第 1 訓練会場 福生第一小学校 (320 人)
第 2 訓練会場 福生第二小学校 (203 人)
第 3 訓練会場 福生第三小学校 (258 人)
第 4 訓練会場 福生第六小学校 (178 人)
第 5 訓練会場 福生第七小学校 (920 人)

※ () 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生市消防団 福生消防署 福生警察署 福生市交通安全推進委員会 福生消防署防災女性の会 (株)NTT 東日本-東京西 武陽ガス(株) 福生アマチュア無線クラブ 福生 L P G 協会 災害時支援ボランティア ふっさボランティア・市民活動センター 市内自主防災組織 東京都 東京消防庁 陸上自衛隊 警視庁 (株)NTT ドコモ 東京電力(株) 日本郵政公社 (日本郵政(株)) (社)東京都獣医師会 トラック協会 都立福生高校

参加者数 1,879 人

イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の揺れのなかでの出火防止、避難路確保等の実践体験を通じて防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織(町会)、学校、事業所等で福生消防署の協力により、初期消火訓練、応急救護訓練等と併せて行った。

運用回数 20 回 (平日 9 回 土・日曜日 11 回)

運用先 自主防災組織 8 回 学校等 6 回 事業所等 6 回

体験者数 2,192 人

(2) 災害対策事業

ア 防災啓発活動

(ア) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成 19 年 7 月 7 日(土) 午前 9 時 15 分～午後 3 時 30 分

場 所 扶桑会館及び福生消防署

受講者数 62 人

(イ) ふっさ防災展

開催日 平成 20 年 1 月 18 日(金)～20 日(日)

場 所 福生市プチギャラリー

内 容 「火災に備える」

火災の被害状況、住宅用火災警報器

防災ふっさの放送

「地震に備える」

緊急地震速報、家具転倒防止器具

備蓄品と備蓄食糧、避難場所と避難所

「風水害に備える」

台風9号と被害想定

「特設コーナー」

応急救護指導・AED体験コーナー

子供用写真撮影コーナー、ビデオコーナー

※コーナーごとに、パネル・実物の展示及びパンフレットの配布を実施。また、ビデオ上映も行った。

入場者には乾パンを1缶ずつ、大人には展示解説シートを、子供には消防署で用意した折り紙や風船を持ち帰ってもらった。また、小学生以下を対象に消防制服着用の写真撮影コーナーも設置し、デジタルカメラで撮影後、その場で配布するサービスも実施した。

見学者数 463人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学 習 場 所	参加者数(人)
7.1	福生団地地区	神奈川県総合防災センター	30
8.26	本町第一地区	池袋都民防災教育センター	20
9.9	鍋ヶ谷戸第一地区	横浜市民防災センター	27
9.13	富士見台地区	山梨県立防災安全センター	28
9.16	志茂第二地区	消 防 博 物 館	40
9.29	永 田 地 区	消 防 博 物 館	24
9.30	南田園二丁目地区	横浜市民防災センター	34
9.30	熊川牛浜地区	消 防 博 物 館	108
10.6	武蔵野台一丁目地区	前橋市防災センター	33
10.7	武蔵野地区	池袋都民防災教育センター	25
10.21	本町第三地区	立川都民防災教育センター	25
10.28	福 栄 地 区	立川都民防災教育センター	27
11.4	本町第六地区	福 生 消 防 署	33
11.17	南 地 区	本所都民防災教育センター	25
11.23	本町第八第一地区	前橋市防災センター	33
11.24	本町第二地区	消 防 博 物 館	33
11.25	本町中央地区	福 生 消 防 署	20
12.1	本町第八第二地区	池袋都民防災教育センター	29
20.2.2	原ヶ谷戸地区	消 防 博 物 館	53
2.3	加美第一・第二地区	立川都民防災教育センター	20
2.17	鍋ヶ谷戸第二地区	葛野川発電所	53
2.24	玉川台地区	消 防 博 物 館	26
2.24	長 沢 地 区	福 生 消 防 署	20
3.1	内 出 地 区	池袋都民防災教育センター	19
3.2	加美平団地地区	立川都民防災教育センター	33
3.9	本町第七地区	埼玉県防災学習センター	64
合計	27地区		882

(エ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数 (人)	自主防災組織名	参加者数 (人)
福生熊川住宅地区	50	牛浜第一地区	60
南地区	150	原ヶ谷戸地区	54
内出地区	136	志茂第一地区	65
武蔵野地区	18	本町第七地区	90
鍋ヶ谷戸第一地区	200	本町第八第一地区	65
玉川台地区	60	加美平団地地区	24
福栄地区	15	長沢地区	20
熊川牛浜地区	85	加美第一地区	500
福生団地地区	110	加美第二地区	
南田園一丁目地区		合計(21地区)	1,702
南田園二丁目地区			
南田園三丁目地区			

イ 応急対策資器材・物資整備計画

応急食糧として乾パン等のランニングストックを継続実施した。

ウ 初期消火体制強化計画

街頭設置消火器及び格納箱（新型 100 箱分）の取替えを実施した。

2 消防活動

(1) 常備消防（福生消防署）

福生、羽村、瑞穂の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員183名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、化学車1台、ハシゴ車1台、救急車3台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、災害活動等に従事している。

出場状況（管轄区域）

（単位：件）

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
108	29	2	7,110	389	106	86	7,830	8,069

(2) 非常備消防（福生市消防団）

市内にある5個分団からなる消防団組織（団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有）により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長 — 副団長 (1人) (4人)	本部付団員 (6人)	— 第一分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		— 第二分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		— 第三分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		— 第四分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
		— 第五分団長 — 副分団長 — 部 長 — 班 長 — 団 員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車両の種類	車両購入年月日
団本部	八王子 800 さ 6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(ニッサン)	平成 15 年 9 月
第一分団	八王子 88 す 659	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成 10 年 11 月
第二分団	八王子 88 さ 8964	〃	平成 9 年 10 月
第三分団	八王子 830 さ 2303	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成 11 年 11 月
第四分団	八王子 88 さ 8169	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成 9 年 3 月
第五分団	八王子 830 さ 2305	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成 12 年 12 月

ウ 年齢別団員数

(単位：人)

年齢 団員数	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳以上
186	2	34	47	40	47	13	2	1

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	61	36	53	28	5	2	1

オ 退団・入団員数

(単位：人)

区分	平成19年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成20年4月1日現在
本部	5	2		2	5
本部付団員	6	2	2		6
第一分団	35	4	3		34
第二分団	35	8	8		35
第三分団	35	5	6	△1	35
第四分団	35	4	4		35
第五分団	35	3	4	△1	35
合計	186	28	27	0	185

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出動回数(件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
36	22	2,656	120.7

キ 消防団出動状況(風水害等)

延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
177	2

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
祭 礼 警 戒	132	2
七 夕 警 戒	415	4
歳 末 警 戒	338	5
そ の 他 の 警 戒	179	8
合 計	1,064	19
前 年 度 合 計	1,053	21

ケ 消防団各種訓練 (消防)

訓 練 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
火 災 防 御 訓 練	341	3
ポ ン プ 操 法 訓 練	4,930	75
機 関 訓 練	1,901	50
規 律 ・ 礼 式 訓 練	332	4
教 育 訓 練	615	11
住 民 指 導	28	1
合 計	8,147	144
前 年 度 合 計	7,048	127

コ 消防団各種訓練 (災害)

訓 練 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
教 育 訓 練	331	6
住 民 指 導	275	10
合 計	606	16
前 年 度 合 計	938	29

サ ポンプ操法審査会 (第 55 回)

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成 19 年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総 合 成 績	第三分団	第五分団	第四分団
チ ー ム 成 績	第三分団 B	第一分団 B	第五分団 B

前 年 度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総 合 成 績	第三分団	第五分団	第二分団
チ ー ム 成 績	第五分団 B	第三分団 B	第四分団 B

(3) 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	※ 焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消 防 団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	※半焼 (件)	ぼや (件)						
4	0	0	0	0	2	2	0	2	1
5	0	0	0	0	1	1	0	0	0
6	0	0	1	0	1	2	0	0	1
7	0	0	2	0	1	3	0	1	2
8	0	0	0	0	0	0	0	4	2
9	0	1	0	1	0	2	0 (2)	0	1
10	0	1	1	0	2	4	0 (2)	0	2
11	0	1	0	0	2	3	7 (5)	0	1
12	0	3	3	0	1	7	81 (23)	1	5
20年1	0	1	3	0	1	5	0 (1)	5	5
2	0	0	0	1	2	3	0	0	1
3	0	1	1	0	2	4	2	0	1
合 計	0	8	11	2	15	36	90 (33)	13	22
前年度 合 計	2	6	12	3	23	46	207 (46)	21	30

※ 半焼は、部分焼を含む。焼失面積の () 内は、表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放 火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件数	平成19年度	18	4	0	3	2	9	36
	前年度	22	4	1	3	3	13	46

(4) 消防水利施設

ア 水 利

(単位：基、箇所)

消 火 栓		合 計	防 火 水 槽			貯 水 槽		合 計	プ ール
150 mm 未 満	150 mm 以 上		20 m ³ 未 満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以上		
461	156	617	36 (0)	6 (0)	98 (88)	17 (17)	22 (22)	179 (127)	17

() は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設箇所

(単位：mm)

番 号	設 置 箇 所	口 径	備 考
1	大字熊川 77 番地	φ100×φ75	地下式単口
2	大字福生 1072 番地	φ75×φ75	〃
合 計	2 箇 所		

ウ 消火栓移設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	新口径	旧口径	備 考
1	大字福生 2452 番地	φ75×φ75	φ75×φ75	地下式単口→地下式単口
2	南田園一丁目 2 番地 10	φ75×φ75	φ75×φ75	地下式単口→地下式単口
	2 箇 所			